

おわせ包括だより

発行：尾鷲市社会福祉協議会 尾鷲市地域包括支援センター
電話:0597-22-3003 FAX:0597-22-3402



第 28 号

発行月:令和 2 年 6 月

ご挨拶

センター長 濱口 幸久

いつもお世話になっております。皆様いかがお過ごしでしょうか。

5月25日(日)政府は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言を解除しました。しかしながら、感染は終息したわけではなく、医療・福祉の現場で働く私たちは気を抜けない日々が続いています。『新しい生活様式』を実践しながら、今後は利用者さまの熱中症対策など取り組みが必要となってきます。

地域包括支援センターは、医療・福祉の関係者の皆様とともに、尾鷲市に住むだれもが安心して生活できるまちづくりを進めてまいります。本年度の人事異動により、3名の職員が配属となりました。職員一同、精一杯頑張っておりますので、暖かく見守りください。



新メンバーのご紹介！



ケアマネジャー 世古 佳奈 (せこ かな)

はじめまして。6月から地域包括支援センターでお世話になっております、世古佳奈です。はじめて在宅ケアマネジャーとして働くことになり、わからない事も多く、日々勉強しながら頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



社会福祉士 濱上 萌波 (はまがみ もなみ)

4月に育児休業から復帰し、部署移動で総務・福祉係から地域包括支援センターに配属となりました。尾鷲のことも、包括の業務もわからないことがたくさんですが、みなさんに教えてもらいながら勉強していきます。よろしくお願いいたします！



事務担当 水谷 将也 (みずたに しょうや)

はじめまして。4月より地域包括支援センターに事務員として配属となりました。最初はわからない事ばかりでご迷惑をおかけすると思いますが、早く業務を覚えて、みなさまのお役に立てるように頑張ります。今後ともよろしくお願いいたします。

地域包括支援センターでは、センター長1名、主任ケアマネジャー1名、保健師2名、社会福祉士3名、ケアマネジャー1名、事務員2名の計10名で業務を行なっています。(令和2年6月現在)

新型コロナウイルス感染症対策について

感染防止の3つの基本

① 身体的距離の確保、② マスクの着用、③ 手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m 最低1m 空ける。
- 遊びに行くなら 屋内より屋外 を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り 真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるとき や会話をするときは、症状がなくても マスク を着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは 30 秒程度かけて 水と石けんで丁寧に洗う 手指消毒薬の使用も可

※高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

厚生労働省ホームページ『新しい生活様式』より

熱中症にご注意を！

マスクは飛沫の拡散予防に有効とされていますが、マスクを着用していない場合と比べると、心拍数や呼吸数、血中二酸化炭素濃度、体感温度が上昇するなど、身体に負担がかかることがあります。

高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるおそれがあるので、屋外で人と十分な距離(少なくとも2m以上)が確保できる場合には、マスクを外すようにしましょう。

マスクを着用する場合には、強い負荷の作業や運動は避け、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給を心がけましょう！また、周囲の人との距離を十分にとれる場所で、マスクを一時的に外して休憩することも必要です。

外出時は暑い日や時間帯を避け、涼しい服装を心がけましょう。

厚生労働省ホームページ『「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント』より



誰しも生活を営む上で、様々な不安や困りごとが少なからず出てきますよね。地域包括支援センターでは、高齢者の生活に寄り添って各関係機関と連携をして支援させていただきます。ご本人、ご家族、ご近所の方など、気になることや困りごとがあればお気軽にご相談してくださいね。【平日 8:30～17:15 TEL:22-3003】